

日本ロシア語教育学会 2026年度 総会議事録

日時：2025年12月6日（土）17時30分～17時57分

場所：大阪大学箕面キャンパス

議長：白山利信氏

出席者：21名（対面20名＋オンライン1名）

【1】会員の異動（敬称略）

事務局長高橋より、以下の通り会員の異動について報告があった。

- ・現在の会員数（賛助会員および休会者を含む）：105名
- ・新規会員（2名）：覚張シルビア Какубари Сильвия、小山正伍 Кояма Сёго
- ・退会者（1名）：山本祐規子 Ямямото Юкико
- ・休会者（3名）：扇 エリザヴェータ Оги Елизавета、桐越 ナタリア Кирикоси Наталья、サルキンデル М. Салкиндер Мария

【2】2025年度活動報告

事務局長高橋より、以下の通り活動について報告があった。

2024年

12月1日 第2回継承語ロシア語スピーチコンテスト （オンライン・共催）

12月7日 研究集会・総会（@筑波大学）（所属はいずれも当時）

第1部 基調講演

境一三 氏（獨協大学特任教授、慶應義塾大学名誉教授）

講演タイトル：「新学習指導要領の施行による高大連携と大学での外国語教育への影響について」（ハイブリッド）

第2部 研究報告

「ロシア語教育における多読の活用－京都外国語大学の試み－」

発表者：バリノヴァ・アンナ, ミソチコ・グリゴリー (京都外国語大学)

「歴史文化的な文脈でのロシア語と日本語のことわざの学習」

発表者：ヴォイティシェク・エレーナ (京都外国語大学)

「縮約作法から要約作法へ ～TORFL・B1 レベル作文対策を通じて～」

発表者：三好マリア (京都外国語大学)

「日本人学生に対する読解の授業について～教育現場からの経験に基づいて」

発表者：アフアナシエヴァ・ナターリア (筑波大学)

第3部 ラウンドテーブル

「日本のロシア語教育の今：変わったこと・変わっていないこと」

横井 幸子（大阪大学） 菱川 邦俊（京都外国語大学） 佐山 豪太（上智大学）

小田桐 奈美（関西大学） 木寺 律子（京都産業大学） 白山 利信（筑波大学）

山本 有希（富山高等専門学校） 依田 幸子（札幌国際情報高校）

福田 知代（早稲田大学高等学院・関東国際高校・都立北園高等学校）

第4部 総会

12月28日 『ロシア語教育研究』第3(通算15)号発行

2025年

7月5日 東日本・西日本地区合同例会（オンライン）

報告1：横井幸子（大阪大学）

「エストニアにおける外国語としてのロシア語教育：政策と実践の間で」

報告2：ラティシェヴァ・スヴェトラナ（上智大学）

「ロシア語教育法の視点において、前置格で前置詞の「B」と「HA」の使い分けについて」

報告3：サヴィヌィフ・アンナ（北海学園大学、札幌ロシア語学校）

「日本におけるロシア語学校の教師によるロシア語話者児童向けの教材選択・適応・作成の原則」

10月26日 シンポジウム

「ディアスポラにおけるバイリンガリズム ―日本在住のロシア語話者の子ども―」（日本ロシア語学校教師会と共催）（@東洋大学、Alter Casa、愛宕地区センター、オンライン併用）

◆日本における中国朝鮮族家庭の言語教育戦略－東洋大学修士課程 金銀京

◆バイリンガルによるロシア語活用の可能性と展望－ロシア語個別指導講座ロシア語・文学教師 ネロノワ・ナタリア

◆日本におけるロシア語バイリンガル向けコミュニティスクール教員の動機づけ ― インタビュー分析の枠組みを通して見えてくる軌跡：熱意から燃え尽きまで－昭和大学准教授 矢澤オーリア、独立研究者 バソフ・オリガ

◆ロシア文化支援センター付属・土曜ロシア語学校（神戸）の紹介－大阪公立大学准教授、日本のロシア文化支援センター「ローディナ」付属土曜学校教師 クラシナ・オリガ

◆日本の公立学校に通うロシア語話者の子どものための学習支援塾プラットフォーム「Assist」－日本におけるロシア語話者向け塾の主宰者 ベレゾフスカヤ・ナタリア

◆「国境なき創造力」学校におけるロシア語による物理・プログラミング・チェス教育－「国境なき創造力」学校教師 リュビモフ・ウラジミール

◆教育的な遠足と学びの散策：歩きながら学ぶ CLIL 教授法の実践－慶応大学ロシア語講師 後藤クセーニヤ

◆就学前および初等教育期のバイリンガル児におけるマイノリティ言語での早期読み学習の効果―バイリンガル児の母の経験に基づいて―言語学者、バイリンガル児の保護者 スマージェンナヤ・マリヤナ

◆トライリンガル児の育児経験：あまり成功しなかった経験―バイリンガル児の保護者 リシツィナ・ダリヤ

◇グループワーク「子どもをバイリンガルに育てるために、いつ、何を、どのように取り組むべきか」

【3】2025 年度会計報告

事務局財務担当小田桐氏より 2025 年度の会計について説明があり、審議の結果、承認された。

【4】2026 年度活動計画案

事務局長高橋より、下記のとおり、2026 年度活動計画案について提案があり、審議の結果、承認された。

- ・第 3 回継承語ロシア語スピーチコンテスト
- ・全国大会&総会 2025 年 12 月 6 日（土）@大阪大学
- ・西日本・東日本合同例会：2026 年 4 月-7 月（@未定）
- ・『ロシア語教育研究』第 4 号（通算第 16 号）発行 2026 年●月
- ・『ロシア語教育研究』第 5 号（通算第 17 号）：エントリー2026 年 3 月末／原稿〆切 5 月末／発行 2026 年●月（時期については変更の場合あり）

【5】2026 年度 全国大会 & 総会計画案

白山新会長より、次のように報告があった。

全国研究大会&総会： 2026 年 12 月 5 日（土）@筑波大学

【6】2026 年度予算案

事務局財務担当藤川氏より 2025 年度予算案について説明があり、審議の結果、承認された。

【7】会則改定

事務局長高橋より、会則の改定の説明があり、審議の結果、承認された。

改定前	改定案
第 4 章 役員 第 10 条（種類） 本会に次の役員を置く。 1） 会長 1 名 2） 副会長 1 名 3） 理事 <u>5 名</u> （事務局長ならびに各種委員会委員長含む）	第 4 章 役員 第 10 条（種類） 本会に次の役員を置く。 1） 会長 1 名 2） 副会長 1 名 3） 理事 <u>11 名</u> （事務局長ならびに各種委員会委員長含む）

【8】2026 年度役員の選出

白山新会長より、以下のとおり提案があり、承認された。

1) 会長 1 名：白山利信

2) 副会長（会長代行）1 名：高橋健一郎

3) 理事 11 名：佐山豪太、菱川邦俊、小田桐奈美、人見友章、シピトゥーニナ・マリーナ、ラティシェヴァ・スヴェトラナ、熊野谷葉子、金子百合子、秋山真一、木寺律子、ミソチコ・グリゴリー

4) 監事 1 名：横井幸子

事務局：小田桐奈美（事務局長・総務）、藤川敏宏（財務）、梶山祐治（財務）

編集委員会：人見友章（編集委員長）、シピトゥーニナ・マリーナ、武田エレーナ、水野晶子、若月花帆、ラティシェヴァ・スヴェトラナ、熊野谷葉子、金子百合子

広報委員会：菱川邦俊（広報委員長）、ミソチコ・グリゴリー

全国大会実行委員会：白山利信（委員長）、高橋健一郎（副委員長）、菱川邦俊、熊野谷葉子、金子百合子、加藤百合、梶山祐治、ミソチコ・グリゴリー、ラティシェヴァ・スヴェトラナ

地区例会実行委員会：佐山豪太（委員長）、ムヒナ・ヴァルワラ（東日本）、若月花帆（東日本）、ボリソワ・アンナ（西日本）、班目貴陽（西日本）